

パブリックコメント及び 第 3 回懇談会での主なご意見

12月12～1月13日に実施したパブリックコメントに対し、1名の方から計7件の意見があった。

項目	意見の内容（概要）
観光施設の拡充	鬼怒川温泉は目玉でありながら廃墟ビルが多い。 <u>温泉の無形文化遺産登録に向けた取組推進</u> や新たに <u>県内物産品等が買える施設</u> 、 <u>日帰り温泉ができる施設</u> が必要ではないか。
レジャー施設の誘致等	若者層を取り込む為、新たな栃木の自然をテーマにした <u>有名レジャーランドの誘致</u> や地元企業が監修する <u>栃木ならではの新しい施設等</u> を作る必要があるのではないか。
国際スポーツ大会の誘致等	<u>サッカー日本代表戦のカンセキスタジアムへの誘致</u> や <u>県外の観客が楽しめる観戦プラン</u> を立てて紹介してはどうか。
ロケ地を活用した観光	アメリカのハリウッド等のように <u>映画のロケ地</u> が分かるような目印を設置し、観光向けにしてはどうか。
免税店の普及活動	小売店を免税店として対応できるようにサポートができる部署を設置してもらいたい。また、各観光スポットに免税店対応の手続き所を設けたり、近くのデパートで対応できるようにしてほしい。
外国人観光客の誘客促進	インバウンド対応として、 <u>県が推奨する店にステッカーを掲示</u> することや工場見学、弓道体験、着物着付け体験、和菓子作り体験、お茶体験などができるオプションツアーの拡充等をしてはどうか。
滞在時間の長期化	県内市町村が連携し観光客がより行き交いしやすい環境づくりが必要ではないか。

1 主要施策について

	第3回懇談会でのご意見等	今後の対応
1	若い方々に観光や地域の魅力を理解してもらう観光教育の要素を組み込めたら良いのではないかと。	主要施策①に若者等を対象とした観光への理解促進等の取組を追記
2	戦略の前提として「既存観光地の強みを活かしながら」という枕詞を入れておいたほうが良いのではないかと。（特に戦略1の主要施策③）	主要施策③に「既存観光地の強みを活かしながら」という表現を追記
3	獣害等のリスクへの対応について、現状と先々のことを考えると触れておいたほうが良いのではないかと。	主要施策⑤に獣害等に対する取組を追記
4	住民の観光に関する意識等については早めに把握をしたほうが良い。	主要施策⑥に県民の観光に対する意識等の把握の取組を追記
5	デジタル化が進んでいる中でスタンプラリーがどの程度周遊に繋がるのか疑問がある。	主要施策⑦のスタンプラリーの取組を「コレクション型観光」の表現に修正
6	インタープリテーションの取組が進んでいるのが栃木県の強みだと思うので取り入れたらどうか。日光国立公園の魅力向上の前に「インタープリテーション計画を活用した」といった表現を入れられないかと。	主要施策⑧の日光国立公園の魅力向上の前に「インタープリテーション全体計画の活用等による」を追記
7	「食」は観光の重要なコンテンツのため、もう少し前面に出しても良いのではないかと。	主要施策⑧に食を活用した誘客の取組を追記
8	人流データだけでなく複数のデータを1つにまとめるDMPの設計等が施策としてあっても良いと思う。	主要施策⑫にDMPの活用取組を追記
9	「帰る旅」の取組は素晴らしいと思うが、名称が分かりづらいのではないかと。	「帰る旅」に注釈をつけるとともに、主要施策⑨内で意図が分かるように記載

2 成果指標等について

	第3回懇談会でのご意見等	今後の対応
10	外国人の消費単価が低い。 <u>日本人より低いのはあまり見たことがないので、ここは伸び代があると思う。</u>	成果指標における外国人消費単価が日本人消費単価を上回るよう目標値を設定
11	延べ宿泊数に対しての <u>外国人宿泊数の割合が少ないので、比率を上げていく必要があるのではないか。</u>	延べ外国人宿泊数割合を参考指標に位置づけ、毎年数値を確認していく。
12	地域の方々が観光をどう捉えてるのかなど、 <u>地域目線での指標があっても良いのではないか。</u>	地域目線での指標が取得できていないことから、主要施策⑥に県民の観光に対する意識等の把握の取組を追記し、数値の把握に努めていく。
13	平準化が鍵となるため、 <u>オフピーク、オンピーク比率のような指標があっても良いのではないか。</u>	特にオフピークとなる冬期の入込・宿泊数割合を参考指標に位置づけ、毎年数値を確認していく。
14	指標として <u>平均泊数は見ていった方が良いのではないか。</u>	平均宿泊数を参考指標に位置づけ、毎年数値を確認していく。
15	<u>日帰りと宿泊の比率について、重要参考指標として変化をみていくのが良いのではないか。</u>	KPIに設定している県調査の入込数と延べ宿泊数を確認することで、比率についても把握していく。
16	KPIを整理し基本戦略や目指すところとKPIがどう連動するか示せるとよい。	主要施策の最後に「主要施策関連表」を追記し、各主要施策と関連する主なKPIの関係等を記載
17	16の <u>主要施策の中で重点度や優先順位を浮き立たせると、ある程度アクションプランに近いところの設計になるのではないか。</u>	いずれも5年間に取り組むべき施策を記載したものであり、毎年予算編成や事業の進捗等に鑑み個別事業で優先度等を検討していく。

3 その他

	第3回懇談会でのご意見等	今後の対応
18	<u>温泉は、我々が思ってる以上に海外の方は惹かれるものがあると思うので、その強みはもっと生かした形で、特に冬場の閑散期にしっかり訴求していくと良いのではないか。</u>	いただいたご意見等を踏まえ、個別事業で検討していく。
19	<u>テレビ番組の誘致やSNSを活用し、誘客に繋がると良い。</u>	
20	<u>人材確保が深刻化している。外国人材を雇用する場合にコストと手間の問題が壁になっている。補助金の支援等、活用に向けた知恵を出していただきたい。</u>	
21	<u>基本戦略2の中の施策に対して、特にどのターゲットにどのタイミングで注力するのかということが分かると、よりエッジを立て、魅力を出していくということに繋がりやすい。</u>	
22	<u>シリーズ化のように、県内をいろいろと繋ぐことによって、日本人も含めて観光客の足を留めさせることが出来るのではないか。</u>	
23	<u>平準化や分散化について、県で業界の声を聞きながら取り組んでいただきたい。</u>	